

会員事業所景況実態調査平成28年10月～12月分集計結果
調査依頼数:522 回答数120 回答割合:23.0%

今年度3回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した10月～12月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	26	48	46	120	▲ 16.7	▲27.2
	採算	19	62	38	119	▲ 16.0	▲26.2
	仕入単価	4	86	29	119	▲ 21.0	▲30.4
	従業員	25	87	6	118	16.1	19.6
	業況	20	59	41	120	▲ 17.5	▲27.7
	資金繰り	6	87	25	118	▲ 16.1	▲13.7
建設・建築業	売上	7	13	6	26	3.8	▲4.5
	採算	3	15	7	25	▲ 16.0	▲22.7
	仕入単価		21	5	26	▲ 19.2	▲18.2
	従業員	9	14	2	25	28.0	22.7
	業況	3	17	6	26	▲ 11.5	▲22.7
	資金繰り	1	20	5	26	▲ 15.4	▲4.5
製造業	売上	8	8	9	25	▲ 4.0	▲37.5
	採算	7	11	7	25	0.0	▲12.5
	仕入単価	1	18	6	25	▲ 20.0	▲31.3
	従業員	5	18	2	25	12.0	25.0
	業況	7	10	8	25	▲ 4.0	▲26.7
	資金繰り	2	17	6	25	▲ 16.0	▲6.3
卸・小売業	売上	3	7	12	22	▲ 40.9	▲80.0
	採算	3	10	9	22	▲ 27.3	▲60.0
	仕入単価		13	9	22	▲ 40.9	▲46.7
	従業員	5	16		21	23.8	14.3
	業況	2	10	10	22	▲ 36.4	▲73.3
	資金繰り	1	12	8	21	▲ 33.3	▲46.7
飲食・サービス業	売上	2	7	6	15	▲ 26.7	▲11.8
	採算	2	9	4	15	▲ 13.3	▲17.6
	仕入単価	2	10	3	15	▲ 6.7	▲18.8
	従業員	1	14		15	6.7	17.6
	業況	2	7	6	15	▲ 26.7	▲12.5
	資金繰り		12	2	14	▲ 14.3	▲18.8
その他	売上	6	13	13	32	▲ 21.9	▲21.2
	採算	4	17	11	32	▲ 21.9	▲24.2
	仕入単価	1	24	6	31	▲ 16.1	▲36.4
	従業員	5	25	2	32	9.4	18.2
	業況	6	15	11	32	▲ 15.6	▲18.2
	資金繰り	2	26	4	32	▲ 6.3	▲6.1

(全体)

前回より資金繰り以外でDI値が改善している。特に売上、採算、仕入単価、業況は10ポイント前後と大きく改善している。従業員も依然としてプラス数値で不足しているが、若干改善している。

(建設・建築業)

前回より資金繰りで大きく悪化している。売上はプラスに転じ、また採算は平成28年度初めて前回数値より改善している。業況も10ポイント以上と大きく改善している。

(製造業)

前回より資金繰り以外で10ポイント以上と大きく改善しているなか、資金繰りは平成28年度はほぼ横ばいであったが、今回は大きく悪化している。

(卸・小売業)

前回より従業員以外でDI値が大幅に改善している。しかしながら、他業種に比べ、依然としてDI値のマイナスポイントは高めとなっている。従業員では、DI値が10ポイント近く悪化し、従業員不足が強まっている。

(飲食・サービス業)

前回より、売上、業況以外でDI値が改善している。特に仕入単価、従業員で大きく改善している。売上と業況は、前回よりDI値が大きく悪化している。

(その他)

前回より仕入単価と従業員でDI値が大きく改善している。他の項目では、ほぼ横ばいとなっている。

【質問 A】 12月と比較した1月～3月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値
全体	売上	14	54	51	119	▲ 31.1
	採算	9	65	46	120	▲ 30.8
	仕入単価	2	87	28	117	▲ 22.2
	従業員	22	91	5	118	14.4
	業況	9	65	46	120	▲ 30.8
	資金繰り	5	87	25	117	▲ 17.1
建設・建築業	売上	2	10	13	25	▲ 44.0
	採算	1	14	11	26	▲ 38.5
	仕入単価		20	5	25	▲ 20.0
	従業員	7	16	2	25	20.0
	業況	1	14	11	26	▲ 38.5
	資金繰り	1	19	6	26	▲ 19.2
製造業	売上	4	11	10	25	▲ 24.0
	採算	3	14	8	25	▲ 20.0
	仕入単価		19	6	25	▲ 24.0
	従業員	4	20	1	25	12.0
	業況	2	15	8	25	▲ 24.0
	資金繰り	2	18	5	25	▲ 12.0
卸・小売業	売上	3	11	8	22	▲ 22.7
	採算	1	13	8	22	▲ 31.8
	仕入単価		15	7	22	▲ 31.8
	従業員	5	16		21	23.8
	業況	2	11	9	22	▲ 31.8
	資金繰り	1	14	6	21	▲ 23.8
飲食・サービス業	売上	2	6	7	15	▲ 33.3
	採算	2	7	6	15	▲ 26.7
	仕入単価	1	10	4	15	▲ 20.0
	従業員	1	14		15	6.7
	業況	2	8	5	15	▲ 20.0
	資金繰り		12	2	14	▲ 14.3
その他	売上	3	16	13	32	▲ 31.3
	採算	2	17	13	32	▲ 34.4
	仕入単価	1	23	6	30	▲ 16.7
	従業員	5	25	2	32	9.4
	業況	2	17	13	32	▲ 34.4
	資金繰り	1	24	6	31	▲ 16.1

※先行き見通しについては前回まで実施していなかった為、前回との比較コメントは掲載しておりませんが、質問Aの10月～12月の景況と比較すると、全体、卸小売業を除く業種で、売上、採算、業況が大きく悪化する見通しとなっている。卸小売業では、採算以外で改善する見通しとなっている。

【質問 B】 貴社が行っている「売上の増加および収益力の向上の取組み」について(複数選択可能)

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
既存市場での販売価格の引上	6	5	8	3	5	27
既存市場での取扱量拡大	5	13	9	4	7	38
新市場での新規顧客開拓	10	10	6	6	12	44
新商品等の提供	3	6	7	5	9	30
多様な働き手の採用	4	3			4	11
ICT(情報通信技術)の活用	1	4	1	1	1	8
力増強を目的とした設備投	3	5	3	1	5	17
その他	2					2
協力業者への要請等、従業員の能力向上のための研修の実施、リフォーム事業での差別化を図るためにフランチャイズ加入						

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

<全業種合計>

1位	利益が上がらない
2位	売上不振
3位	消費需要の停滞
4位	従業員不足・従業員の技術力不足
5位	仕入価格の上昇
6位	販売単価、受注単価の低下
7位	後継者不足
8位	事業資金の借入難・消費者ニーズの変化への対応
9位	大型店等の進出等による競争激化・在庫過剰
10位	その他 人材育成(飲食・サービス)、無理な価格提示(建設業)

<建設・建築業>

1位	利益が上がらない
2位	従業員不足
3位	従業員の技術力不足

<製造業>

1位	利益が上がらない
2位	売上不振
3位	従業員の技術力不足

<卸・小売業>

1位	売上不振
2位	利益が上がらない
3位	消費・需要の停滞

<飲食・サービス業>

1位	消費・需要の停滞
2位	売上不振
3位	従業員不足

<その他業種>

1位	利益が上がらない
2位	売上不振
3位	仕入価格の上昇

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

- ・第一四半期(4月～7月)の発注率の拡大及び平準化、雇用の安定化(建設・建築業)
- ・平成28年度はすべての役所で予算削減で発注は来年度に先送りする。特に造園関係の仕事が少ないので、業者間での競争が激化している。今後の先の見通しが立たない。(建設・建築業)
- ・下請けでも利益が上がるよう仕組みを作ってほしい。(建設・建築業)
- ・労務単価の値上げをしてほしい。(建設・建築業)
- ・地域産業の活性化により、多くの若者がUターンし地元で働く場所が増えることを望む。(建設・建築業)
- ・大手企業のむやみなローコスト提示の広告宣伝が悪影響となっているので、規制をしてほしい。(建設・建築業)
- ・現状の入札制度について、産業育成も考慮し、適正な利潤が確保され企業の健全な継続発展が可能となる制度にしてほしい。(製造業)
- ・各種方面から県内市内の製造業界の景気が悪くなるいっぽうだと聞いているが、何か対策をしてほしい。(製造業)
- ・道路拡張工事を行っている所を早く整備してほしい。(その他業種)